

単元名 郷土のさまざまな芸能を味わいながら鑑賞しよう

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 郷土の伝統音楽の特徴と多様性を理解することができる。
 (2) 郷土の伝統音楽における表現の特徴とその多様性についての知識を得たり生かしたりしながらそれらの共通性や固有性について考え、よさや美しさを味わって聴くことができる。
 (3) 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組もうとする。

標準的な展開例

11260202_001

【教材名】郷土の音楽や芸能 「鹿踊」「獅子舞」等

(上 P. 46～P. 49)

【準備等】鑑賞映像、タブレット

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 「鹿踊」と「獅子舞」を鑑賞する。 ★郷土の芸能のよさを味わおう。 ○「鹿踊」と「獅子舞」の音楽と踊りを確認する。</p> <p>○「鹿踊」と「獅子舞」に使用されている楽器や特徴的なリズムを聴き取る。</p> <p>○「鹿踊」と「獅子舞」の表現の特徴やそれぞれのよさを考える。</p> <p>2 「鹿踊」「獅子舞」と各地のさまざまな音楽・芸能を比較鑑賞する。 ★さまざまな伝統舞踊や祭りの音楽を聴き比べよう。 ○「龍踊」「虎舞」「地域の音楽や伝統」を鑑賞する。</p>	<p>・唱歌や音頭一同形式の表現方法、生活とのつながりを理解しながら、比較鑑賞させる。</p> <p>・タブレットを活用して、まなびリンクで映像資料を鑑賞させることができる。</p> <p>【評】表現の特徴を聴き取る活動を通して、「知識」を評価する。</p> <p>・それぞれの表現の特徴をまとめ、演じられる目的などからよさや面白さなどをまとめさせる。</p> <p>【評】表現の特徴を聴き取り、共通性や固有性について考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・比較鑑賞することで、共通性や固有性を考えさせる。</p> <p>・校区の伝統舞踊や祭りの音楽などを事前に録画しておいて、比較鑑賞の教材として活用することも考えられる。</p> <p>【評】我が国の音楽文化に愛着をもち、生活とかわる活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】

舞と囃子による表現の特徴を聴き取ったり、各地の音楽や芸能を比較したりして、表現の共通性や固有性について考えたり、くらしとともにある伝統音楽の豊かさを味わったりすることを目指す。

【共通事項】音色・リズム・速度・旋律・テクスチャ・強弱・構成